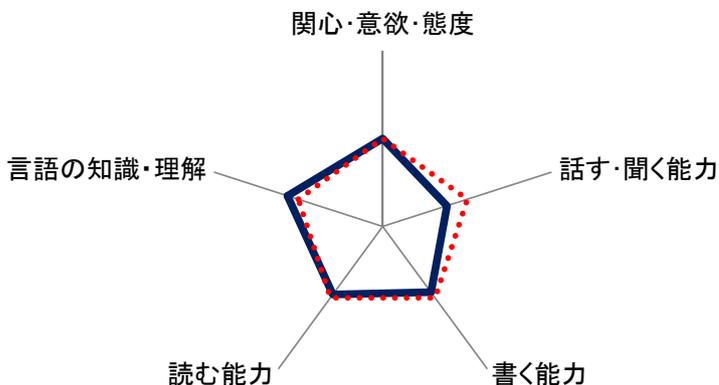


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

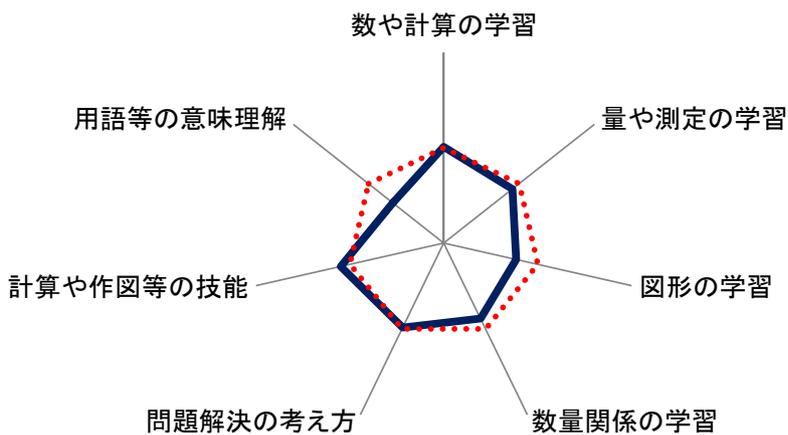
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

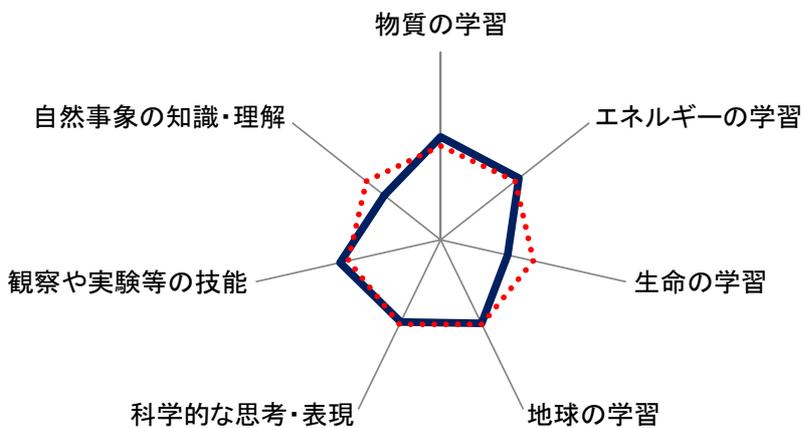
— 市平均
..... 全国平均



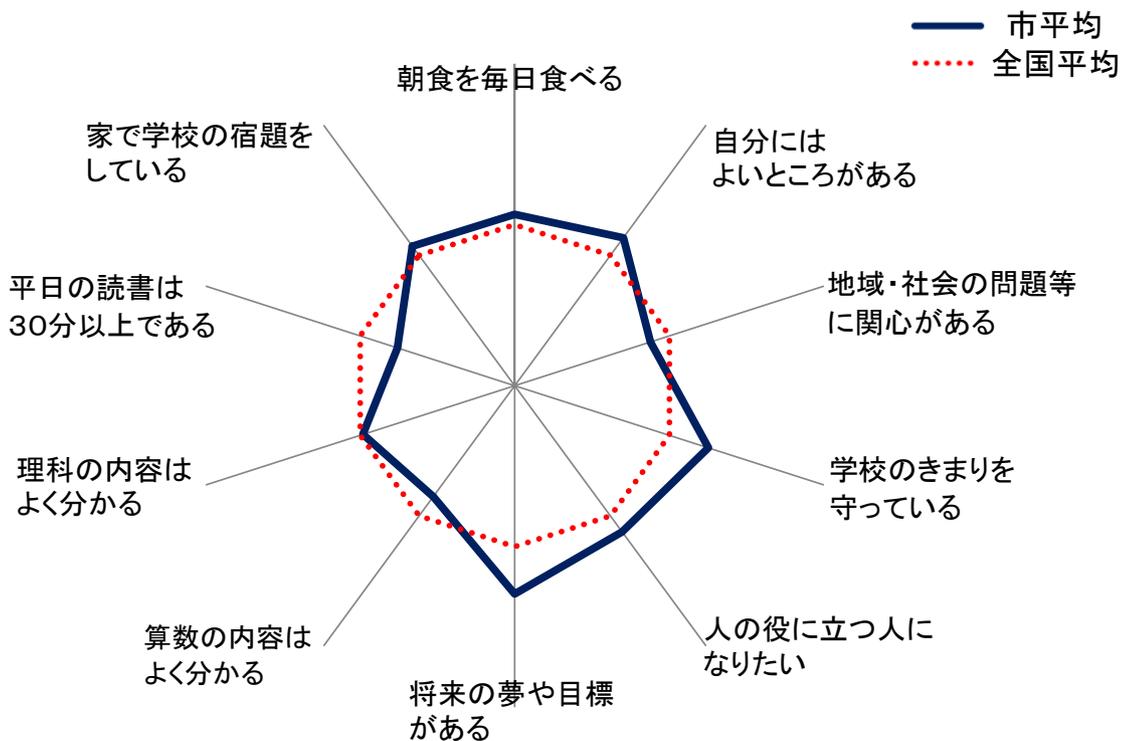
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は全ての項目で全国平均とほぼ同じであり、算数及び理科は全ての項目で全国平均とほぼ同じか下回っている。特に算数においては、昨年度、全国平均を上回っている項目がほとんどであったが、今年度は全国平均を下回っている項目が7項目中6項目と増加している。理科は「生命の学習」の項目において課題が見られる。今後、算数においては昨年度との比較を通して児童のつまづきを分析し、児童の学習意欲を高めながら更なる学力の底上げをしていくとともに、他の教科においては全ての領域においてバランスの取れた学力を育成できるような取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「学校のきまりを守っている」や「将来の夢や目標がある」の各項目で昨年度に引き続いて肯定的な回答が全国平均を大きく上回っている。一方、「平日の読書は30分以上である」の項目において、昨年度より全国平均との差が大きくなっている。みきゃん通帳の活用方法を検討するなど、読書に親しむ習慣づくりに心掛け、一人一人の子どもに応じた読書活動の充実を図る指導が望まれる。